

# 法人名 (公財)山梨県子牛育成協会

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	山里 直志		所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	山梨県北杜市小淵沢町大平10061		電話番号	0551-36-3200		
ホームページURL	<a href="http://www.yatuboku.jp">http://www.yatuboku.jp</a>		E-mailアドレス	<a href="mailto:yatuboku@io.ocn.ne.jp">yatuboku@io.ocn.ne.jp</a>		
資本金(基本財産)	10,000	千円	設立年月日	昭和52年3月23日		
主な出資者	出資順位	出資者名等		出資額		出資比率
	1	山梨県		10,000	千円	100.0 %
	2				千円	0.0 %
	3				千円	0.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)			千円	0.0 %
	その他				千円	0.0 %
	合計		10,000	千円	100.0 %	
設立経緯等	<p>設立目的:山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。</p> <p>経緯概況等:県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。昭和52年:(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。昭和60年:県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。平成5年:県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。平成12年:堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。平成13年:周年預託業務を開始。平成18年:県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者となっている。平成23年:公益財団法人に認定された。</p>					

## 【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H23年度	H24年度	H25年度
事業1 八ヶ岳牧場業務	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農家有家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。 肉用牛の改良増殖業務。 家畜排泄物処理業務等	210,526	220,665	215,284
事業2 まきば公園業務	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	17,690	17,785	16,707
事業3				

## 【組織】

年度	平成24年度					平成25年度					平成26年度					
	職プロパー	派遣兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣兼務	県職員	県OB	その他	
4月1日現在の人員																
役員	理事(常勤)	1		1		1		1		1		1				
	理事(非常勤)	8		2	6	8		2	6	8		2	6			
	監事(常勤)	0				0				0						
	監事(非常勤)	2			2	2			2	2			2			
	評議員	5			5	5			5	5			5			
計	16	0	2	1	13	16	0	2	1	13	16	0	2	1	13	
職員	管理職	2	2			2	2			2	2					
	一般職員	19	19			19	19			19	19					
	臨時職員	2			2	2			2	2			2			
	非常勤職員	0				0				0						
計	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2	
プロパー職員の年齢構成(H26.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計			平均年齢	平均年収				
	男性		2	4	3	10		19	役員常勤	※		(千円)				
	女性		1		1			2	職員常勤	45		(千円)				
合計	0	3	4	4	10	0	21				5,483					

※常勤役員は、1名のためのため個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
正味財産の状況	基本財産運用益	150	150	150	0
	受取会費・受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	208,975	208,938	209,886	948
	自主事業収益	42,114	41,878	44,791	2,913
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	2,439	2,440	1,877	△ 563
	経常収入 計	253,678	253,407	256,705	3,298
	事業費	242,309	242,410	234,873	△ 7,537
	うち人件費	142,689	136,822	128,552	△ 8,270
	管理費	6,518	18,555	20,698	2,143
	うち人件費	5,642	15,394	19,578	4,184
	経常支出 計	248,827	260,965	255,571	△ 5,393
	当期経常増減額	4,850	△ 7,558	1,134	8,691
	経常外収入				0
	経常外支出			△ 9,592	△ 9,592
	当期経常外増減額	0	0	9,592	9,592
当期一般正味財産増減額	4,850	△ 7,558	10,726	18,283	
当期指定正味財産増減額				0	
正味財産期末残高	52,196	44,638	55,364	10,726	

(単位:千円)

項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
財務状況	流動資産	40,534	35,605	39,885	4,281
	固定資産	103,583	103,112	97,452	△ 5,661
	資産 計	144,117	138,717	137,337	△ 1,380
	流動負債	21,334	15,549	9,412	△ 6,137
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	70,587	78,531	72,561	△ 5,969
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	91,921	94,079	81,973	△ 12,106
	正味財産	52,196	44,638	55,364	10,726
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	0
うち特定資産への充当額	8,272	9,533	10,795	1,261	

(単位:千円)

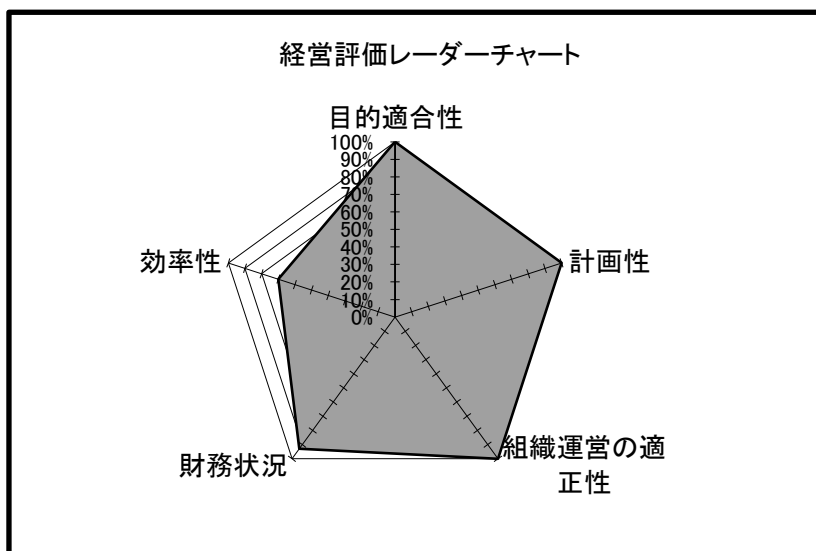
項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金	136,824	136,361	128,552	△ 7,809
	人件費以外の委託金	72,151	72,577	81,334	8,757
	委託金 計	208,975	208,938	209,886	948
県支出金 計	208,975	208,938	209,886	948	
県の財政的関与の割合(%)	82.4	82.5	81.8	△ 1	
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	該当なし
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	該当なし
委託金	指定管理者制度に基づき、管理委託料が支払われている。
債務負担行為	「県立八ヶ岳牧場」および「県立まきば公園」の指定管理者であり、管理委託料は、5年間の債務負担行為に基づき、執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	12	100.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	12	100.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	52	92.9%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	20	14	70.0%
合計		21	112	102	91.1%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	農家家畜の受託と肉用牛の改良および生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興を図るため、指定管理者として基本協定に基づく業務を適正に行い、事業目的を達成している。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。 また、計画と実績の比較分析を行い、業務・経営の改善に努めている。
組織運営の適正性	指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。 また、平成23年からは公益財団法人として認定され、内部監理体制を適切に行い、透明性の高い健全な運営に努めている。事業活動内容、財務状況についてはホームページで公開している。
財務状況	主要な財源を管理委託料と独自の収入源である家畜の牧場利用料収入で充当して運営している。公益法人は収支相償を基本とするが、家畜の牧場利用料の増収等により当期経常増減額はプラスであった。次年度以降、公益法人として収支のバランスを取りながら健全な経営を保っていく。(当期経常外増減額の9,592千円は退職給付水準の引き下げに伴い発生した過去勤務費用である。)
効率性	従前より管理運営の効率化を図ってきたところである。施設等利用率は非常に高く施設が効率的に活用されている。今後も経費削減や更なる利用者数の確保に努め、効率的な運営を進めていく。
総合的評価	実施事業は全て公益事業に認定され、設立目的は適切に達成しており事業の公益性は高い。 優良素牛の売却や冬期受託の受入増頭により利用者のニーズに応えているが、経営的には、購入飼料等の飼養経費が増加しており、自給飼料を安定的に確保するために、引き続き牧草地の簡易更新や獣害防止等の対策を実施しているところである。今後施設や車両機械の老朽化が懸念され計画的な更新が必要である。



対応策	八ヶ岳牧場業務については、衛生対策の充実と受精卵移植等の繁殖に関するサービスを充実し、優良肉用牛の安定供給と受託頭数の拡大を図ると共に、革新的技術緊急展開事業に参画し公共牧場としての生産性向上を図る。 まきば公園業務については、園内美化に努め、新規イベントの企画や内容を充実し利用者数の拡大を図る。牧場と公園の連携による効率的な運営と利用者サービスの向上を図り、ホームページ等により情報を積極的に公開する。 公益財団法人として、適正な法人運営とより一層の合理的な経営を進めていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従い、適切に受託事業等を実施しており、目的に充分適合している。
計画性	経営計画・年次計画に基づいて、適切に管理運営が行われている。また、事業分析により業務改善に努めており、今後も適切な管理運営が見込まれる。
組織運営の適正性	組織運営とリスク管理に必要な体制整備が行われ適切に運用されている。事業活動や財務情報はホームページ上で積極的に公開されており、高く評価できる。
財務状況	家畜の牧場利用料の増収等で経常利益が黒字に転換し、財務状況が改善されたことは高く評価できる。
効率性	受託頭数が順調に増加し、施設等利用率が3年連続で100%を超えたことは高く評価できる。
総合的評価	協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力・意識水準から総合的に判断し、高く評価できる。今後も引き続き適正な法人運営とより一層の合理的経営に取り組まれない。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>A</b></p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>B</b></p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>C</b></p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>D</b></p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
※ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立八ヶ岳牧場、まきば公園の指定管理者となっている。</li> <li>・ 平成25年度は、家畜の牧場利用料の増収等で経常収益が黒字になったことや人件費の削減などにより、効率性、財務状況の各得点率が上がった結果、A評価となった。</li> <li>・ まきば公園の入園者数は前年度より減少したが目標値を超えている。八ヶ岳牧場の受託頭数及び生産子牛の売却頭数も増加しており、経営は安定している。</li> <li>・ 今後も、公益法人として収支のバランスを取りながら、サービスの向上や施設利用実績の改善につながる取り組みを引き続き行っていく必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県畜産の安定的発展に寄与するという公益性の高い設立目的に沿って、公益財団法人として引き続き健全な管理運営に努めていく。</li> <li>・ 牧場利用料の増収や人件費の削減により発生した剰余金については、翌年度の公益目的事業の費用として支出することにより収支相償を図る。</li> <li>・ 県有牛の改良増殖に努め、優良な肉用素牛を安定供給するとともに、農家巡回の実施や繁殖サービスを充実し、受益者の拡大や利益の増進に取り組んでいく。</li> <li>・ まきば公園については、顧客満足度の高い公園を目指し、イベントの企画や内容の見直しに取組み、来園者の確保に努めていく。</li> </ul>
---